

# 第3波までと第4波の比較

	第3波まで (従来株中心)	第4波 (変異株中心)
期間	384日間 (令和2年3月2日～)	37日間 (令和3年3月20日～) ※337事例日以降
事例数	331事例	306事例
陽性者数	1,080名	1,112名

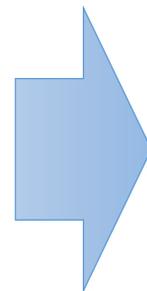
第3波まで、およそ1年で確認された陽性確認数を、

第4波はわずか1ヶ月余りで上回る急激なスピードで広がっている

# 1つの事例の陽性者数の比較

	1人のみ	2～4人	5～9人	10人以上
第3波まで (従来株中心)	190事例 (190人)	93事例 (241人)	24事例 (152人)	24事例 (497人)
	57.4%	35.4%		7.3%
第4波 (変異株中心)	141事例 (141人)	119事例 (310人)	31事例 (199人)	15事例 (462人)
	46.1%	49.0%		4.9%

- ・事例の陽性確認が  
**1人のみ**のケースが**大幅に減少**
- ・一方で、事例の陽性確認が  
**2人以上**となるケースが**大幅に増加**



**一人の陽性者から、職場の同僚や家族に感染を広げてしまうケースが増加**

# 陽性者の年代別内訳

	15歳以下	(うち5歳以下)	20代・30代	70代以上
第3波まで (従来株中心)	84人 (7.78%)	<u>16人</u> (1.48%)	355人 (32.87%)	191人 (17.69%)
第4波 (変異株中心)	58人 (5.22%)	<u>28人</u> (2.52%)	539人 (48.47%)	<u>109人</u> (9.8%)

- ・ 第4波では、20代・30代の陽性確認だけでおよそ半数の539名
  - ・ 70代以上は109名にとどまっているが、この層に広げないことが重要
- ・ 15歳以下の陽性確認は、増加傾向は見られないが、5歳以下の未就学児では陽性確認が増加（同居家族からの家庭内感染）